



813号

〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2
日港福会館 5 階
Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622
メール rouren@kensu.jp
ホームページ <http://www.kensu.jp/>
全国検数労働組合連合
書記局



日常活動の実践力を総結集

職場とともに未来に向かって継承・挑戦

全国検数労働組合連合 第57回定期全国大会開催！

9月11日(木)～12日(金)にかけて、横浜市労働会館で第57回定期全国大会が開催され、24年度の活動経過報告と総括、25年度運動方針が確立されました。

今定期大会には来賓として全労連秋山議長をはじめ、全国港湾から玉田書記長、交運共闘から三宅事務局長長がお祝いと激励の挨拶に駆けつけてくれました。また、54の友誼団体からメッセージをいただいたことを厚く御礼申し上げます。

今定期大会の参加者は代議員25名、中執5名、会計監査1名、オプザーバー27名の合計58名で構成され、各項目での活発な意見のもと全体の確認をもって各議案が採択されました。

【24年度活動と総括】

長期化している戦争、紛争、米中貿易摩擦、米国の関税政策など様々な要因が複雑に絡み合う情勢のなかで、検数労連として一年を通して『仕事と収入の確保』と『人材の確保と流出の阻止』を前面に中央・地域・職場が一体となって運動を進めてきました。その結果、要求との差や両協会の業績にこだわった回答を打破するまでにはいかなかったものの、24冬季・25夏季一時金では昨年同期比を上回る回答を勝ち取ることができました。一方、25春闘では一昨年前から続く賃上げムードを追い風に全労連・全国港湾等に結集し、5桁回答を求め粘り強い交渉を進めてきました。その結果、全日検では平均で5桁回答を得たものの、日検協会は平均で5桁に届かず交渉の足並みをずらして更なる追及を図ってきましたが結果的に修正回

答を引き出すまでには至らない中で妥結することとなった点については、大大会議員から厳しい指摘や意見を受けることとなりました。また、冬夏一時金についても長年の課題となっている業績による地域間格差の問題や交渉の在り方、要求方式の変更など様々な意見が出されましたが、24年活動終過と総括については全体の拍手で承認されました。

【25年度運動方針】

いま世界的に戦争・紛争・貿易摩擦・関税政策などによる物流混乱、円安の影響によって検数の主要取扱貨物は減少傾向で推移しています。そのような状況ではあります。ますが、検数労連として運動の基本的には『組合員の雇用と生活を守り、労働条件の維持・向上』『安全で安心して働ける職場環境作り』の実践を中央・地域・職場で進めていきます。



【2025年度中央役員体制】

中央執行委員長	石橋 寛	(再任)
副中央執行委員長	山田 拓	(再任)
同	神保 大輔	(新任)
中央書記長	高木 正一	(新任)
中央書記次長	石渡 周二	(再任)
会計監査	川瀬 達也	(再任)
同	中村 泰造	(再任)

2025年度は上記の体制で、働きやすい職場づくりを目指して奮闘していきます。
組合員の皆様、今年度も一年よろしくお願ひします。



光部中央書記長 長い間ご苦勞様でした。

いま、職場では人員不足による業務多忙が深刻化しています。魅力ある複数労働の実現には、職場要求の実現が欠かせません。同時に時間外労働に依存しない賃金の確立や組合員の『生活防衛と暮らしの安定』を第一に経済要求を前進させていきます。

要求の実現には組合の発信力の維持・拡充が重要となります。そのためには組織拡大・強化は最重要課題となります。その認識のもと中央・地域・職場での情報共有や連携を進め、新規採用者及び未加入者に対して対話と呼び掛けを進め、組織強化・拡大に努めていきます。

14年間にわたり、検数労連の『扇の要』として、全労連や全国港湾検数労連の場で先頭に立って活躍された光部中央書記長が、第57回全国定期大会をもって、中央書記長の任を降りました。

これまで、我々の先頭に立ち、日々の組合運動の計画立案や若手や後輩組合員への指導など、あらゆる場面で功績に感謝を表すとともに、今後の更なる活躍を祈念して、紙面ではありますが報告とお礼に代えさせていたが、だきたく思います。

長い間、ありがとうございました。